



農家のリアルな姿を知ってもらう 「農家を『知る』ツアー」を開催

10月13日、茅野市での新規就農希望者を対象に市内農家を巡る生産現場見学会や相談会を開催しました。

今回のツアーには、首都圏や中京圏から、就農を考えている20代～50代の6組8人が参加となりました。当日は、りんご、パセリ、菊の栽培農家を巡りながら、農業者の生の声や農業の魅力を聞くことができるようになっており、ツアーの最後には、農業経営や住居についての相談会を実施。農家や茅野市での生活を知るきっかけ作りとなりました。



新たな家族の誕生を祝福 婚姻・出産お祝い品の贈呈が開始

9月30日から、茅野市・東京都狛江市に婚姻届出または出生届出をした方を対象に、お祝い品の贈呈が始まりました。婚姻届を提出した夫婦には木製フォトフレームを、出生届を提出した方には木製玩具を贈呈しています。

お祝い品は、狛江市のデザイナーのデザインに基づき、市内の事業者が制作したもので、材料は市内の間伐材を用いています。

茅野市市民課にて配布していて、令和6年4月1日から9月29日までに届出をした方も対象となります。



男女が共に働きやすい職場づくりに取り組む はつらつ事業所新規認定証交付式

9月11日、新たに「はつらつ事業所」に認定された設備工業有限会社に対して、認定証交付式を行いました。

茅野市では、男女共同参画社会づくり推進のため、男女が共に働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む市内事業所を「はつらつ事業所」として認定しています。

今年8月上旬の認定審査会では、12事業所が「茅野市はつらつ事業所」として認定されています。

「茅野市はつらつ事業所」は随時募集をしており、次回の認定審査会は1月を予定しています。



統計を身近に感じ、必要性や重要性を知る 茅野市統計グラフコンクール表彰式

9月10日、「茅野市統計グラフコンクール表彰式」が茅野市役所で行われ、金賞・銀賞に入賞した9名が、表彰されました。今年度は、応募作品34作品のうち、第1部(小学校1・2年)、第2部(小学校3・4年)、第3部(小学校5・6年)、第4部(中学生)、第5部(小中学生パソコン統計グラフの部)において、金賞5作品、銀賞4作品、佳作9作品が選ばれました。

金賞・銀賞を受賞した作品は、市のホームページからご覧いただけます。



災害時および平時でも重層的な連携・交流 茅野市・渋谷区・甲府市災害時応援協定締結

10月22日、茅野市、渋谷区および甲府市は災害時相互応援協定を締結しました。甲府市役所で行われた締結式には、今井市長ら3名の市区長が出席しました。

この協定は、協定市区の災害時の応急及び復旧対策を相互に応援することに加えて、平時においても防災情報の共有、産業、市民活動等の広範な分野での連携・交流を深める内容となっています。

今後、平時からの連携により、災害時での連携強化に限らず、広範な分野での相互発展が見込まれます。



廃棄物・フードロス削減、防災教育に活用 防災備蓄食品受領式

10月21日、ファナックパートロニクス株式会社から、防災備蓄食品を寄贈いただきました。茅野市役所で行われた受領式には、澤田毅社長が出席しました。

同社では、発災時に備え、社員が3食異なったものを食べられるように防災備蓄食品を保管しています。

賞味期限が切れる1年前に備蓄食品の入れ替えを行っており、この度、入れ替え前の備蓄食品を寄贈いただきました。寄贈された備蓄食品は、地区や家庭での防災教育やフードドライブ等に活用します。



地域経済活性化と持続可能なまち創りのため 茅野市・ちのDMO・(株)日本旅行における 包括連携協定締結

10月4日、茅野市と(一社)ちの観光まちづくり推進機構及び(株)日本旅行の3者で、包括連携協定が結ばれました。

この協定は、日本旅行のノウハウや地方創生に関連するネットワークによる支援を生かして、茅野市の地域経済の活性化と持続可能なまちづくりに繋がるものになります。また、観光振興だけに留まらず、8つの連携項目を掲げた包括的な協定となります。



タカネヒューマンサポートと災害時協力 体制に関する協定締結

10月4日、「桜ハウス」の名称で宮川と玉川に介護施設を運営するタカネヒューマンサポートと茅野市は災害時協力体制に関する協定を結びました。茅野市役所で行われた締結式には、花岡憲彦社長が出席しました。

協定では、災害が発生した場合に可能な限り相互に協力すること、災害及び避難情報等に関する情報共有、要配慮者の受入れや物資の支援を行うことを明記しています。

この協定を通じて連携体制の強化を図り、災害発生時の防災および減災を目指します。